

4月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号（所蔵あり）
くらべて、けみして	こいし ゆうか／著	
浮遊霊ブラジル	津村 記久子／著	Fツム
少女が最後に見た蛍	天祢 涼／著	Fアマ
川のある街	江國 香織／著	Fエク
恍惚の人	有吉 佐和子／著	ブン Fアリ
鳥への挨拶	ジャック・プレヴェール／著	951フ
それでも三月は、また	谷川 俊太郎 他	918ソ
一年一組せんせいあのね	鹿島 和夫／選	ジドウシ 91イチ

～ 読書会 memo ～

あいにくの雨でしたが、初参加で見学に来られた方を合わせて6名の方に来ていただきました。

今回紹介された本は・・・校閲者の日常を描いたお仕事コミック『くらべて、けみして』、芥川賞作家の津村記久子の『浮遊霊ブラジル』、『少女が最後に見た蛍』は生活安全課に努める女性を描いた社会派ミステリの人気シリーズ、昭和57年に出版され大ベストセラーとなった『恍惚の人』は高齢者を取り巻く環境について今もなお考えさせられるところのある作品、『鳥への挨拶』は詩と奈良美智の絵を堪能できる一冊、『一年一組せんせいあのね』は子どもの素朴な言葉で綴られた詩集 などでした。同じ作家の作品のことや出版された時代のことなどもお話しいただけて、大変興味深かったです。

次回は 5月19日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。